



# 新たな息吹 帝釈峡 湖水開き



4月29日に帝釈峡湖水開きがあり大勢の観光客が訪れました。安全祈願の神事に続いて、神龍湖に浮かぶ観

光船が静かにその勇姿を現し、神龍湖上で泳ぐ鯉のぼりの下を潜り、湖面中央に設置されたたす玉を見事に割ると、観光客から一斉にカメラのフラッシュ。

ながの村自治振興会の神龍班で犬瀬の各商店街は帝釈峡観光協会の主催する湖水開きのイベントに集客アップの期待を寄せていました。

## 第27回 ながの村 大運動会 6月1日(日) 午前9時30分開催

今年はトライアルデモンストレーション、そして防災活動が注目です。みなさんふるってご参加ください。



### 人物紹介 Vol.36



**田辺文子さん(79歳)**  
 昭和3年3月13日生まれ

神石高原町高光の刈山家の4番目の子どもとして生まれましたが、10歳の時、二代とも子どもがいない二人の叔母

のいる永野の田辺家に、まるで遠足にでも行くような気持ちで養女に來ました。毎週日曜日になると大きいお婆ちゃんが送ってくれたり、隣に同級生2人がおり、何をすることも姉妹のように過ぎ、転校しても同級生は勿論、先生、上級生からもかわいがってもらいました。

高光小学校から永野小学校へ転校した時珍しかったのか、毎週金曜日に当時講堂の玄関にあった二宮金次郎の銅像の側で、全校児童30名の前で国語の教科書を読むように言われ、一生懸命に読んだことを覚えてします。

昭和17年県立油木農学校入学、卒業と同時に38名が女子挺身隊として呉第11海軍航空機発動機部で飛行機の部品ボルトを造っていました。可部高女、高知高女、三豊高女からの出身者や下士官・組長達で懸命に働きました。永野の大上セツミさんとは一緒でした。

戦火も厳しくなり愛媛県八幡浜工場に移動、そこで終戦を迎え1年4ヶ月で永野に帰ってきました。昭和23年3月3日21歳の時、中

国から復員して帰ってきた現在の主人と結婚、3人の子どもに恵まれ、その間夫は世間知らずの私をよく助けてくれ、大きな愛で包んでくれました。

百姓の辛さ、厳しさを身をもって感じたのは大恩ある年寄りが弱り、時代の波に乗って主人も働きに出るようになってからで、大百姓が我が身にのしかかってきてからは、一心不乱に鞭打って働き、今思えば私自身に、どこにそんな低力があつたか不思議なような気がします。今流で言えば「自分を自分で褒めてあげたい。」

今までは多忙で、趣味という程のものはありませんが、強いていえば、読書・生け花、そして地域のみなさんに助けられながら何事にも好奇心旺盛ぶりを発揮しています。

でも今のところ闘病中の主人の事以外何も考えられなく、3人の子どもがそれぞれ立場で援助してくれ助かっていきます。「お母さんの辛い気持ちはよく解るが、自分自身の精神力、そして体力も維持しながら時間を確保することも大切だよ。」

### 立ち話



と言われ、最近その気になりつつあります。

大型連休中、孫たちが愛犬をつれて遠方から帰省してくれ、忙しい中にも幸福感一杯の時間が流れて行きました。食べ物野菜中心で、魚、海藻類、乳製品は努めて摂るようにしています。

そして、平凡な言い方ですが「全ての人に優しさを…」をモットーにこれからも前向きに生きたいと願っています。



あのなあく。広島屋の忠義さんが、りんご園のほとり、ドラム缶を利用して昔なつかしい炭焼きをしていました。夏には家族みん



なでバーベキューが出来るかな？

花面公園に咲いたかたくりの花。どんどん広がります。

永野こまち探検隊



### 短歌

◆カリストの  
深山幽谷を眼の下に  
花面公園は  
満開の桜

◆焉という句点が  
吾にうたたる日も  
遠くは無しと  
花の種を蒔く

宮野滋子

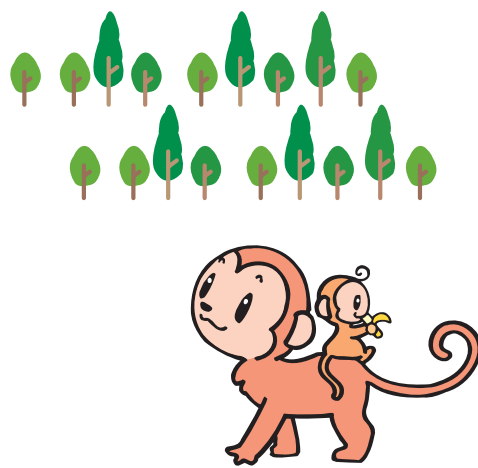
◆機械には  
ついに馴染めず  
農婦なり  
八十路の我は  
今も鋤をもつ

◆春爛漫  
桜も桃も  
咲き揃い命の限り  
輝きてあれ

大上セツミ

### 猿が出た!

4月5日ながの村市場の田んぼに50〜60頭の野猿出現。住民はイノシシの他に野猿の被害で頭を悩ませています。目の前の同じ田んぼで耕耘機を使ってもいつこうに恐れはしないで、田んぼの中から何やら餌を食べていました。何を食べているかと思えば、今は餌の無いとき。田んぼの中に生えている草を食べていました。住民のあきれ顔!! カメラを持って近づくと見張り役が知らせて、一斉に藪の中に入り、人の動きを見ては人がいなくなるとまた現れる。困ったものだ...



### 花面公園とその周辺整美

4月20日(日)花面公園の整美を地住民71名、クライマー58名、中国人研修生7名、永野郵便局長様の137名が、午前8時から自宅及び各寄宿舍から花面公園に集結。今年クライマーの皆さんには郵便局の倉庫に一時保管していただいていた鳥の剥製などを旧技術室に運搬してもらい花面公園へのアクセス道路の左右の草刈りもしていただきました。地元住民は、花面公園や約210本のしだれ桜の整美、空き缶などのゴミ分別作業をしました。

4月から新しく就任された宮野元壮ながの村自治振興会長のあいさつのあと全員で満開の桜のもとお弁当を食べました。そして今年3月まで永きにわたって自治振興会長をお努めいただいた城後明さんの労を労いました。大変お疲れさまでした。ありがとうございます。クライマーの声、「今年で3回目、毎年このよう



地元住民のみなさんと一緒に清掃活動させていただきましたことに感謝いたします。」住民の声：「自宅から花面公園に移動しているとき、70名近い人たちが草刈りをしておられる光景をみてびっくりしました。うれしかったですですね。」

### さざんかの会 No.7

## 我が家の一品!!

一品料理の受付は  
FAX 0847-86-0045  
ながの村まで

### 梅漬

#### 【元漬】

- ①梅のヘタを取り一晩水の中へ入れてアクを取る
- ②ザルに上げて(梅1斤に対して塩2合・梅1kgに対して塩200g)の割合で漬けます。
- ③焼酎をワンカップ(180cc)をふり掛けます。(カビ防止)

※梅を漬ける器はカメを使用し、ナイロンの袋は使用してはいけません。梅を漬ける前に器は熱湯消毒しておきます。

#### 【土用干】

土用になるとザルに上げて、3日3晩土用干しをします。

#### 【シソを梅酢に漬ける】

梅を取り出した後の梅酢を別の器(酸に強い)に入れて赤シソを良くもんで、黒い汁が出なくなる迄アクを抜き、梅酢の中に漬けておきます。

#### 【本漬】

梅とシソを交互に漬け込み、最後に食酢を少々入れると梅が鮮やかに赤く染まります。

### フキの佃煮

- ①フキは(木ブキ)が良い。フキを5cm位に切り、よく洗い一晩水につけてアク出しをする。
- ②ザルに上げて、熱湯に一度くぐらせる。固いものは少し煮るとよい。
- ③砂糖・七味少々・醤油を入れて、6時間位とろ火で煮込む
- ④最後に水アメを入れて艶出しをする。

### キャラブキ

- ①フキの細い物はそのまま5cm位に切る。
- ②フキの太いものは皮を剥き5cm位に切る。
- ③一晩水の中に入れてアク抜きをする。
- ④ザルに上げ熱湯の中にやわらかくなるまで茹でる。
- ⑤茹でたフキをとろ火で炊く。茹でたフキ・直径25cm・深さ12cm位のザル一杯の材料に対し  
(清酒ワンカップ(180cc)・みりん(180cc)・醤油(100cc)・味の素(少々)・削り節(適当))
- ⑥最後に水アメを入れて艶出しをする。

ながの村へご寄贈いただきました。ありがとうございます。

●土鈴の焼き物  
庄原市 原 博巳様

●自転車  
福山市共同組合P・F・U様

●ひまわりの苗  
福山市高橋一之様(前山陽テクノ事務局)

●芝生くず 紫陽花(花面公園へ移植)  
和田班 和田忠義様

●こいのぼり一式  
和田班 和田昌明様



### お見舞い返し

横溝昭子様  
赤木太朗様

ありがとうございます。